

# 講演会のご案内

若手コレクターの育成事業の一環として、アート業界で活躍する皆様を講師に迎え、スペシャルトークを開催しております。  
一般の方もご参加いただけます。

2022年

7月19日(火) 18:00～

美術史家  
隠岐 由紀子 氏

## 『浮世絵板絵が教えてくれる ウィーン・ジャポニズムの輝き』

ウィーンの国立オーストリアギャラリーにあるグスタフ・クリムトの『ヨハンナ・シュタウデの肖像』。ウィーン分離派のミューズと言われたこの肖像画の女性が音楽指揮者エドゥアルド・シュトラウスに遺贈した品の中に、日本の錦絵を精巧に模写した板絵が4枚ある。元版画の検閲印や版元印まで忠実に再現される一方で、元絵にない奇妙なマークや1899などの制作年記があるため、これらはハプスブルグ帝国下のウィーン近傍で西洋の画家によって模写されたと考えられる。2020年にはじめて存在が明らかになった4枚の板絵が明かしてくれる世紀末ウィーンの芸術動向、人間模様について判明した事柄をご紹介したい。

### 【略 歴】

東京大学教養学部教養学科フランス科から同大学人文系大学院美術史学科に進学。高階秀爾氏の下で西洋美術史を学ぶ。1984-87年在仏、1986年のオルセー美術館開館準備作業に参画、ガイドブック、館内表示などの和訳に従事する。1988年以降、青山学院女子短期大学、成蹊大学、明治学院大学、東京農工大学、神田外語大学、東京家政大学、武蔵野美術大学、女子美術大学、一橋大学、日本女子大学などで美術史の教鞭をとる。2004年から2015年定年退職まで、帝京平成大学准教授。ジャポニズム学会理事、美術史学会査読委員などを経て現在国際浮世絵学会監査委員、府中市立美術館運営協議会委員。フランス19世紀美術史、中でもギュスターヴ・モローなど世紀末象徴派ならびに東西文化交流ジャポニズムについて研究している。



隠岐 由紀子  
(おき ゆきこ)

### 【編書・著書】

- 『フランス物語』上下巻 (世界文化社)
- 『モロー』 (アサヒグラフ美術特集西洋編17)
- 『コロ』 (講談社アール・ヴィヴァン)
- 『ギュスターヴ・モロー 世紀末パリの異郷幻想』 (東京美術) など

### 【訳 書】

- ジュード・ウェルトン 『印象派の技法』 (同朋舎)
- コリン・ウィギンズ 『ポスト印象派』 (同朋舎)
- ジュヌヴィエーヴ・ラカンブル 『ギュスターヴ・モロー 夢を編む画家』 (翻訳監修補遺、創元社知の発見叢書)
- ソフィー・モヌレ 『ルノワール』 (中央公論社)
- エドモン・ド・ゴンクール 『歌麿』 (平凡社東洋文庫745)
- エドモン・ド・ゴンクール 『北斎』 (平凡社東洋文庫897) など

### 申込方法

メール info@ja2pa.or.jp  
電話 03-3569-1250  
(電話受付時間 平日10:00～18:00)  
※各DMでも承ります!

### 聴講料

500円 (要申込)

### 会 場

シンワアートミュージアム  
(東京都中央区銀座7-4-12  
銀座メディカルビルB1F)



一般社団法人 日本アート評価保存協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12 銀座メディカルビル5F  
TEL: 03-3569-1250 FAX: 03-3569-1251 info@ja2pa.or.jp

